



2024年9月期 第2四半期決算説明

株式会社 丸山製作所

代表取締役社長 内山剛治

次の100年を創る
-All for the Future-



目次

1. 2024年9月期 第2四半期業績概要 P. 2
2. 2024年9月期 業績予想 P.14
3. 第8次中期経営計画 P.22
4. 参考資料 P.32
会社概要 財務諸表 等



1 2024年9月期 第2四半期 業績概要

【2023年10月1日～2024年3月31日】

2 2024年9月期 業績予想

【2023年10月1日～2024年9月30日】

3 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4 参考資料

会社概要 財務諸表 等

2024年9月期 第2四半期 業績概要

単位：百万円	2023年9月期 第2四半期 実績		2024年9月期 通期予想	2024年9月期 第2四半期実績				
	金額	売上高 比率		金額	金額	前年同期比		売上高 比率
						増減額	増減率	
売上高	18,431	—	42,000	17,603	▲827	▲4.5%	—	
営業利益	425	2.3%	2,000	264	▲160	▲37.9%	1.5%	
経常利益	424	2.3%	2,000	253	▲171	▲40.3%	1.4%	
当期純利益	378	2.1%	1,400	141	▲237	▲62.7%	0.8%	
為替レート 米ドル	134円		140円	151円				
為替レート ユーロ	146円		150円	163円				

経済

- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除による需要回復が一巡する中で、緩やかな回復基調
- ・ 地政学的緊張の高まりの長期化による資源やエネルギー価格の高騰
- ・ インフレ警戒に伴う各国の金融引き締めによる急激な円安の進行

変動要因

- 【日本】 ・ アグリ向け大型機械の増加 ・ 工業用ポンプの減少 ・ 洗浄機の減少 ・ 消防機械の増加
【海外】 ・ 中南米向け動力噴霧器、刈払機の減少 ・ 北米及び欧州向け工業用ポンプの減少

農林業用機械

- ・ 動力噴霧機
- ・ 動力散布機
- ・ 大型防除機
- ・ 刈払機
- ・ チェンソー
- ・ その他



工業用機械

- ・ 工業用高圧ポンプ
- ・ 高圧洗浄機
- ・ ウルトラファインバブル製品



その他の機械

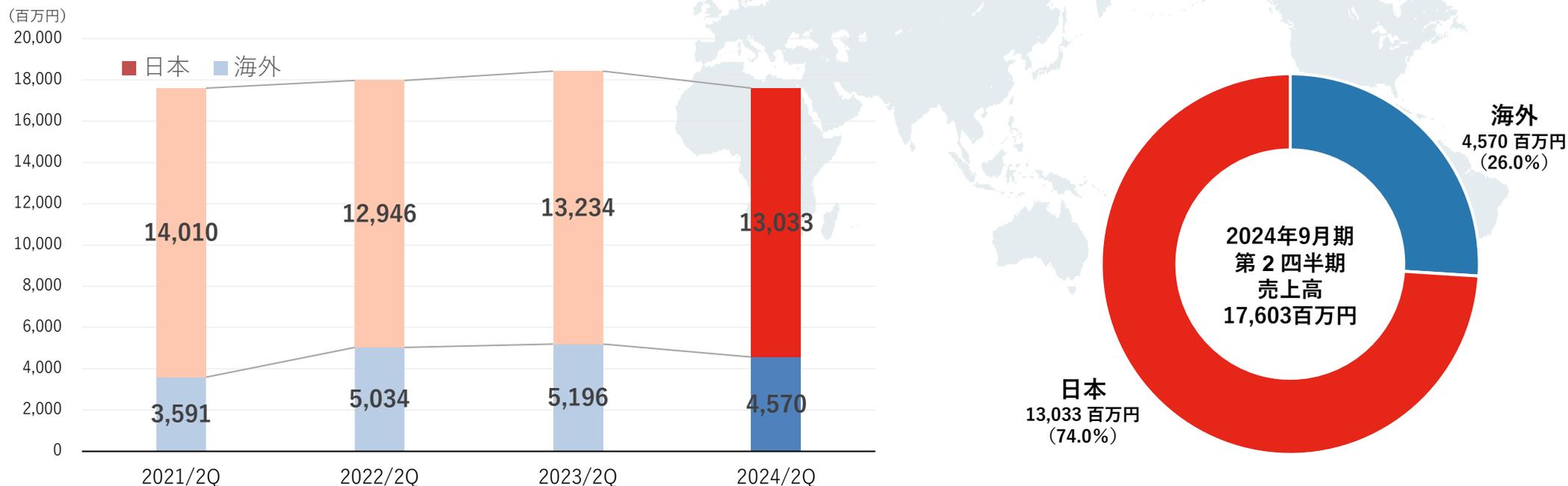
- ・ 消火器
- ・ 防災関連機器
- ・ 環境衛生用機械
- ・ その他



不動産賃貸他

- ・ 不動産賃貸
- ・ 売電事業

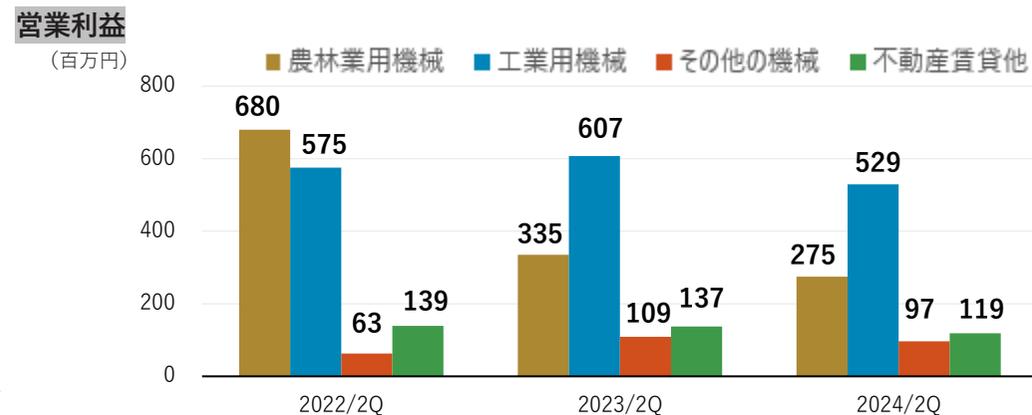
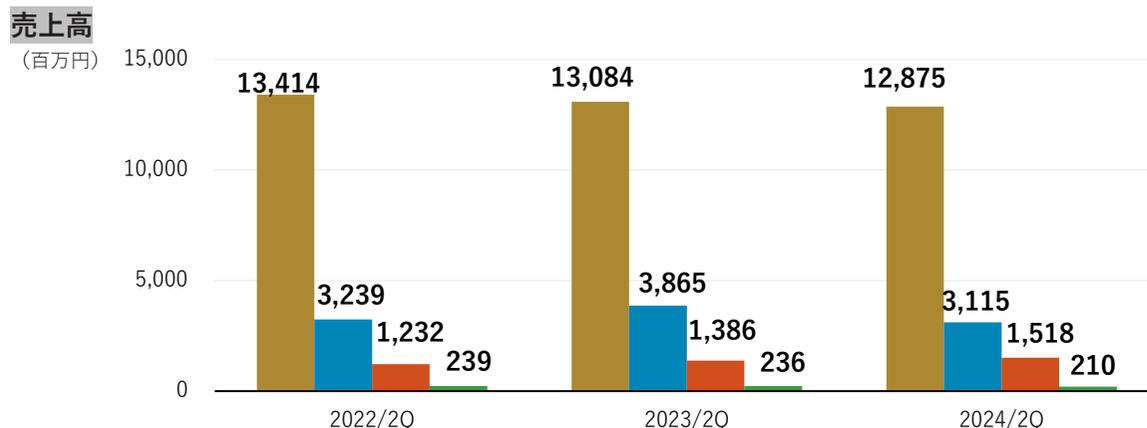
海外の売上高の状況



単位：百万円	2023年9月期 第2四半期実績		2024年9月期 第2四半期実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
海外	5,196	28.2%	4,570	▲626	▲12.1%	26.0%
日本	13,234	71.8%	13,033	▲200	▲1.5%	74.0%

セグメント別 業績概要

単位：百万円	2023年9月期 第2四半期実績			2024年9月期 第2四半期実績							
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	前年同期比		売上高 構成比	営業 利益	前年同期比		営業利益 構成比
					増減額	増減率			増減額	増減率	
農林業用機械	13,084	70.5%	335	12,875	▲208	▲1.6%	72.7%	275	▲60	▲18.1%	26.9%
工業用機械	3,865	20.8%	607	3,115	▲749	▲19.4%	17.6%	529	▲77	▲12.7%	51.8%
その他の機械	1,386	7.5%	109	1,518	+131	+9.5%	8.6%	97	▲12	▲11.2%	9.5%
不動産賃貸他	236	1.3%	137	210	▲25	▲10.8%	1.2%	119	▲18	▲13.3%	11.7%
調整額 (セグメント間取引)	△141	—	△765	△116	+24	—	—	△757	+7	—	—
合計 (うち海外)	18,431 (5,196)	100.0% (28.2%)	425	17,603 (4,570)	▲827 (▲626)	▲4.5% (▲12.1%)	100.0% (26.0%)	264	▲160	▲37.9%	100.0%

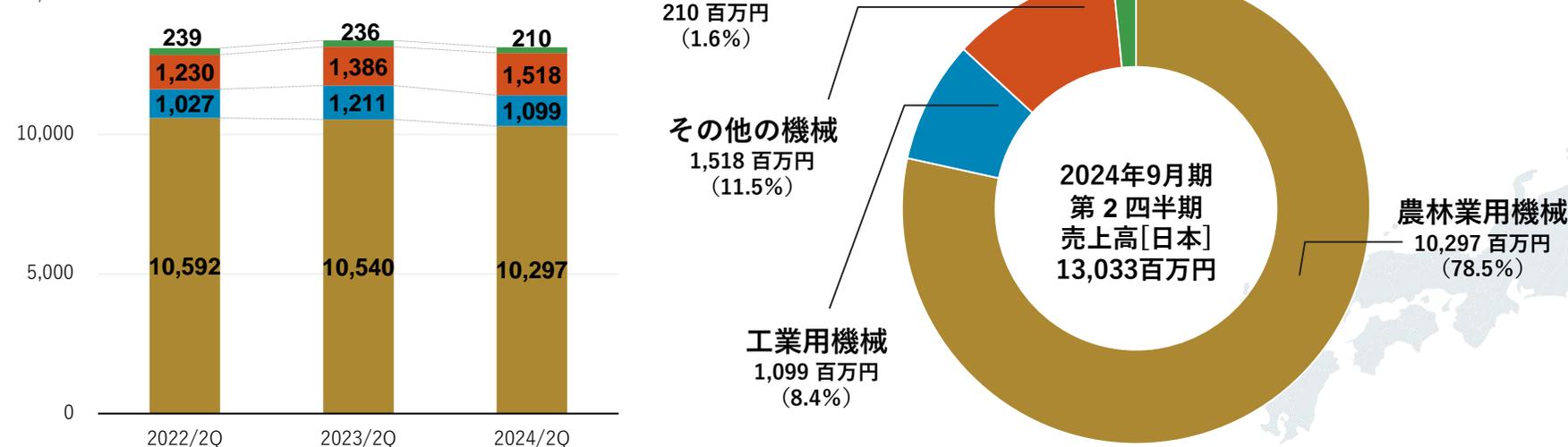


セグメント別 売上高 [日本]

農林業用機械：大型防除機の増加、動力噴霧器の減少
工業用機械：工業用ポンプや洗浄機の減少

売上高

(百万円)



単位：百万円	2023年9月期 第2四半期実績		2024年9月期 第2四半期実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	10,540	78.8%	10,297	▲243	▲2.3%	78.5%
工業用機械	1,211	9.1%	1,099	▲111	▲9.2%	8.4%
その他の機械	1,386	10.4%	1,518	+131	+9.5%	11.6%
不動産賃貸他	236	1.8%	210	▲25	▲10.8%	1.6%

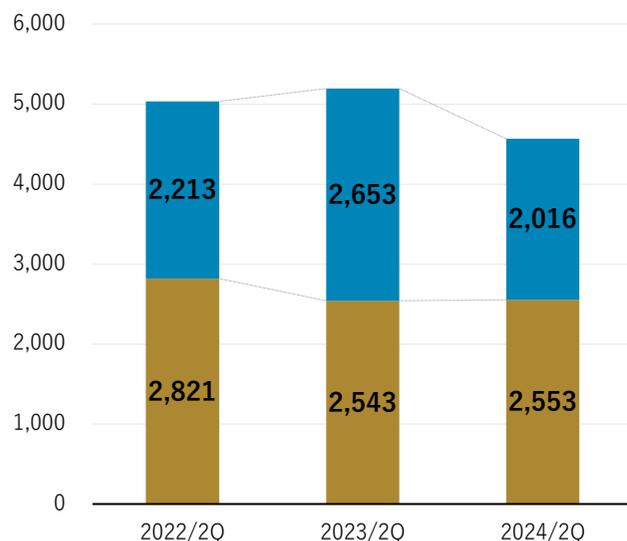
※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

セグメント別 売上高 [海外]

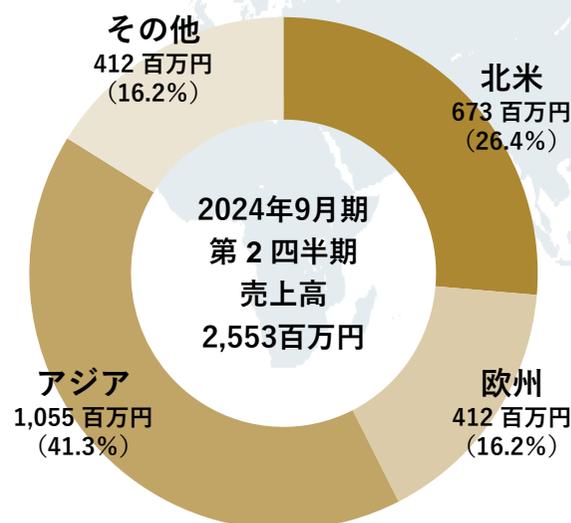
農林業用機械：北米向け刈払機の増加、中南米向け刈払機の減少
工業用機械：北米及び欧州向けの工業用ポンプの減少

売上高

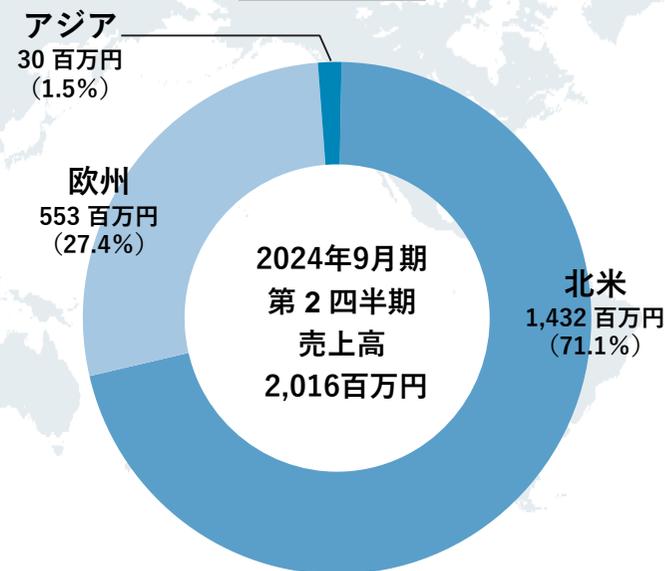
(百万円)



農林業用機械



工業用機械



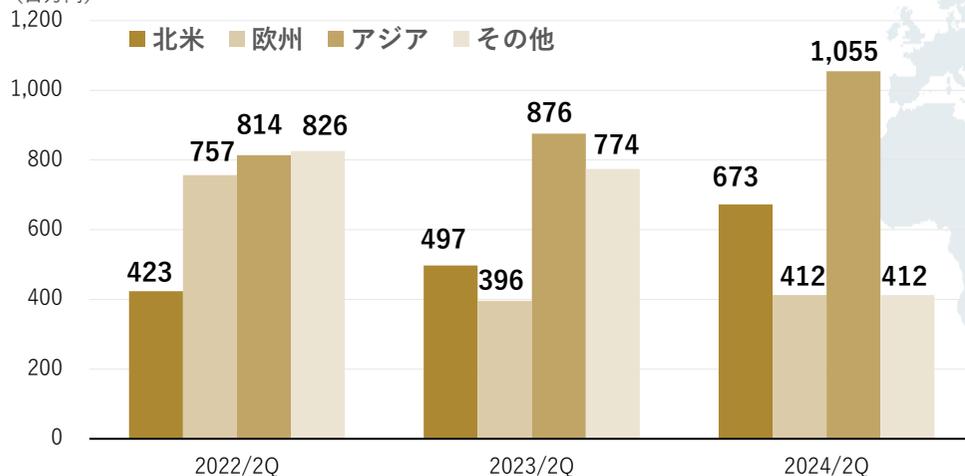
単位：百万円	2023年9月期 第2四半期実績		2024年9月期 第2四半期実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	2,543	48.9%	2,553	+10	+0.4%	55.9%
工業用機械	2,653	51.1%	2,016	▲637	▲24.0%	44.1%

※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

セグメント別 売上高 [海外地域別]

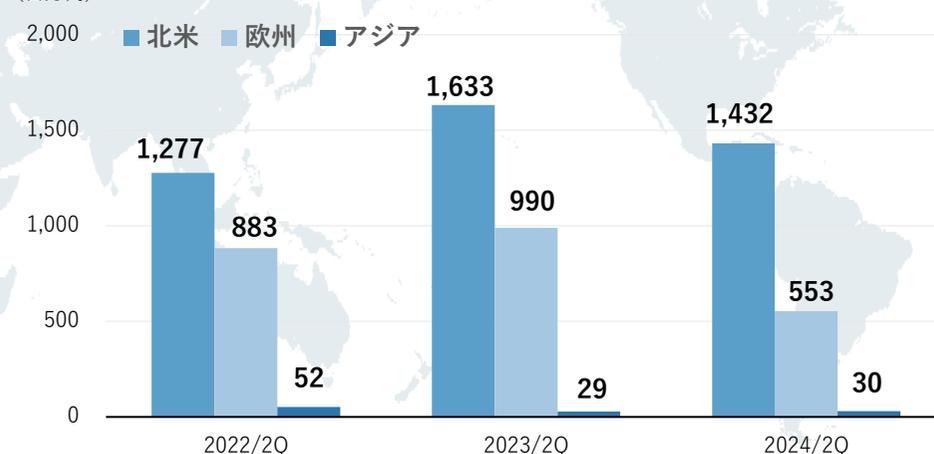
売上高 [農林業用機械 地域別]

(百万円)



売上高 [工業用機械 地域別]

(百万円)

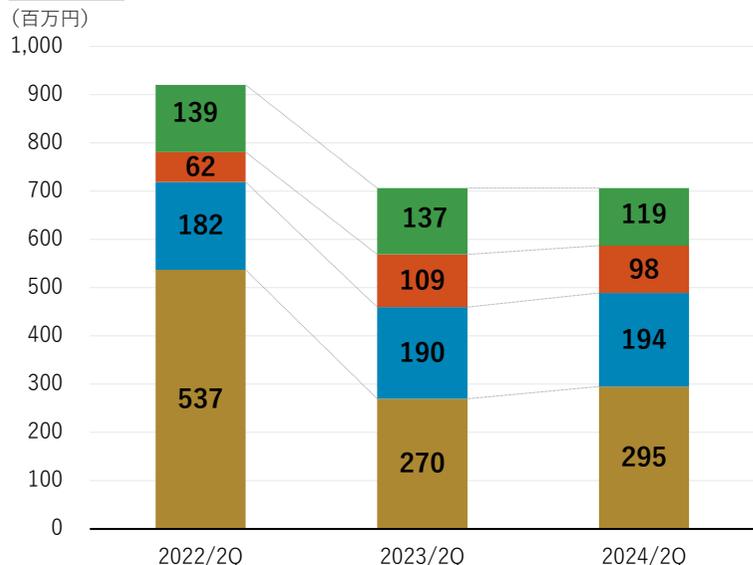


単位：百万円	2023年9月期 第2四半期実績		2024年9月期 第2四半期実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	2,543	48.9%	2,553	+10	+0.4%	55.9%
北米	497	9.6%	673	+175	+35.4%	14.7%
欧州	396	7.6%	412	+16	+4.2%	9.0%
アジア	876	16.9%	1,055	+179	+20.4%	23.1%
その他	774	14.9%	412	▲361	▲46.7%	9.0%
工業用機械	2,663	51.1%	2,016	▲637	▲24.0%	44.1%
北米	1,634	31.4%	1,432	▲200	▲12.3%	31.4%
欧州	990	19.1%	553	▲437	▲44.2%	12.1%
アジア	29	0.6%	30	+0	+3.3%	0.7%

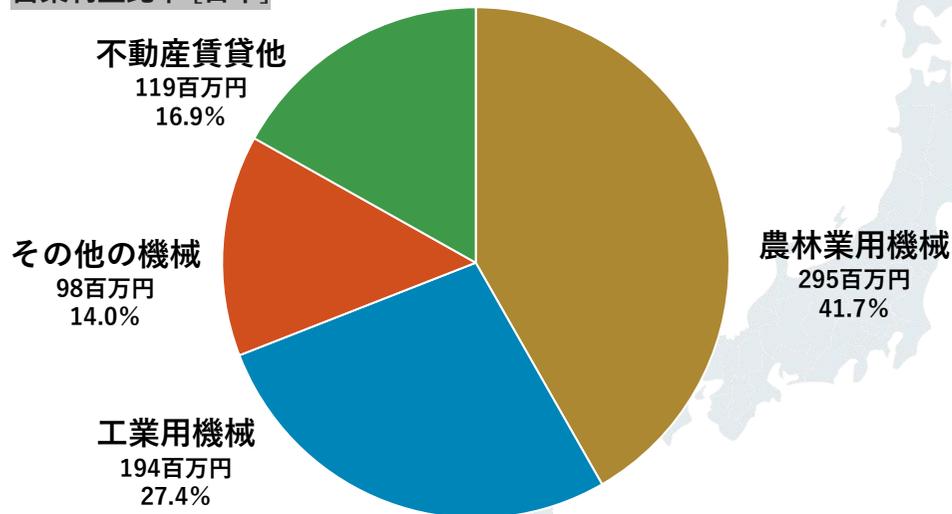
セグメント別 営業利益 [日本]

農林業用機械：原材料高騰及び資材調達の混乱に伴う生産効率の悪化

営業利益



営業利益比率 [日本]



単位：百万円	2023年9月期 第2四半期実績		2024年9月期 第2四半期実績			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比		営業利益 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	270	38.3%	295	+24	+9.1%	41.7%
工業用機械	190	26.9%	194	+3	+2.0%	27.4%
その他の機械	109	15.4%	98	▲11	▲10.0%	14.0%
不動産賃貸他	137	19.4%	119	▲18	▲13.3%	16.9%

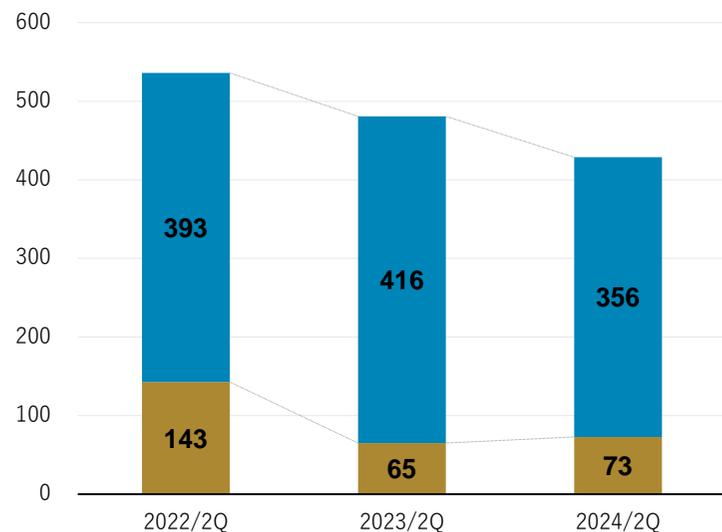
※営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

セグメント別 営業利益 [海外]

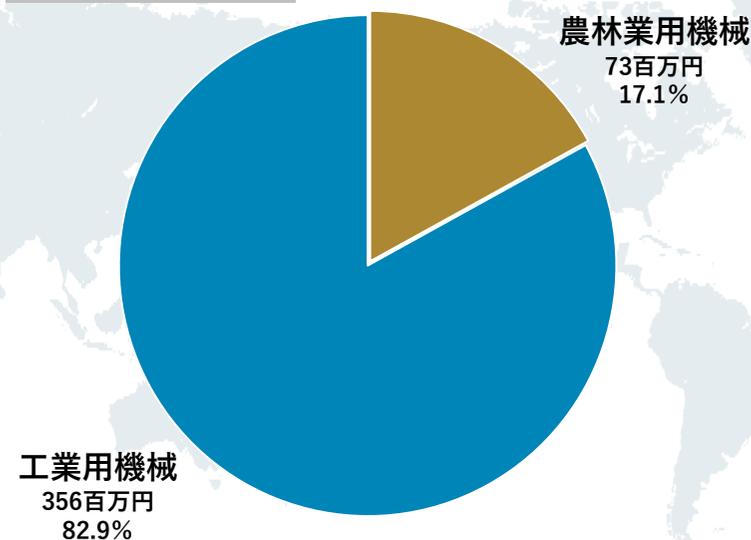
工業用機械：製商品の値上げ効果により営業利益改善

営業利益

(百万円)



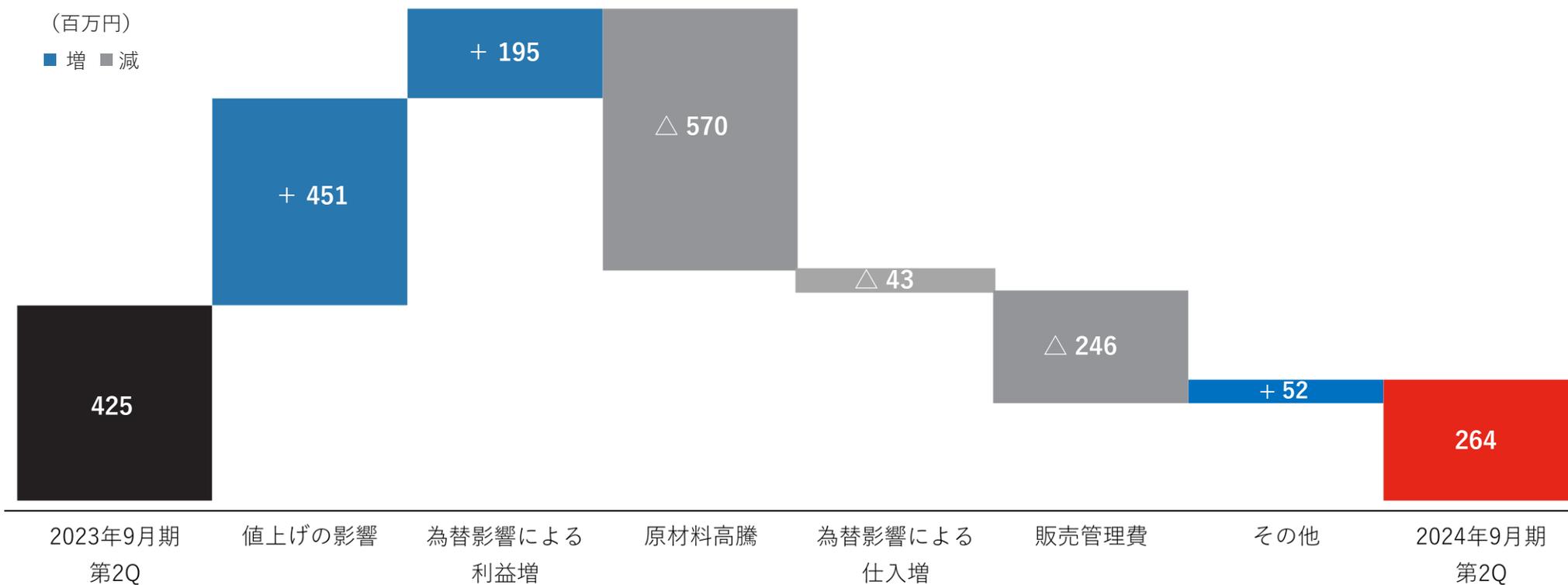
営業利益比率 [海外]



単位：百万円	2023年9月期 第2四半期実績		2024年9月期 第2四半期実績			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比		営業利益 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	65	13.5%	73	+7	+12.1%	17.1%
工業用機械	416	86.5%	356	▲60	▲14.6%	82.9%

※営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

2024年9月期 第2Q増減益要因分析 [経常利益]



【+】 値上げの影響 (+451)、為替影響による利益増 (+195) が主な要因

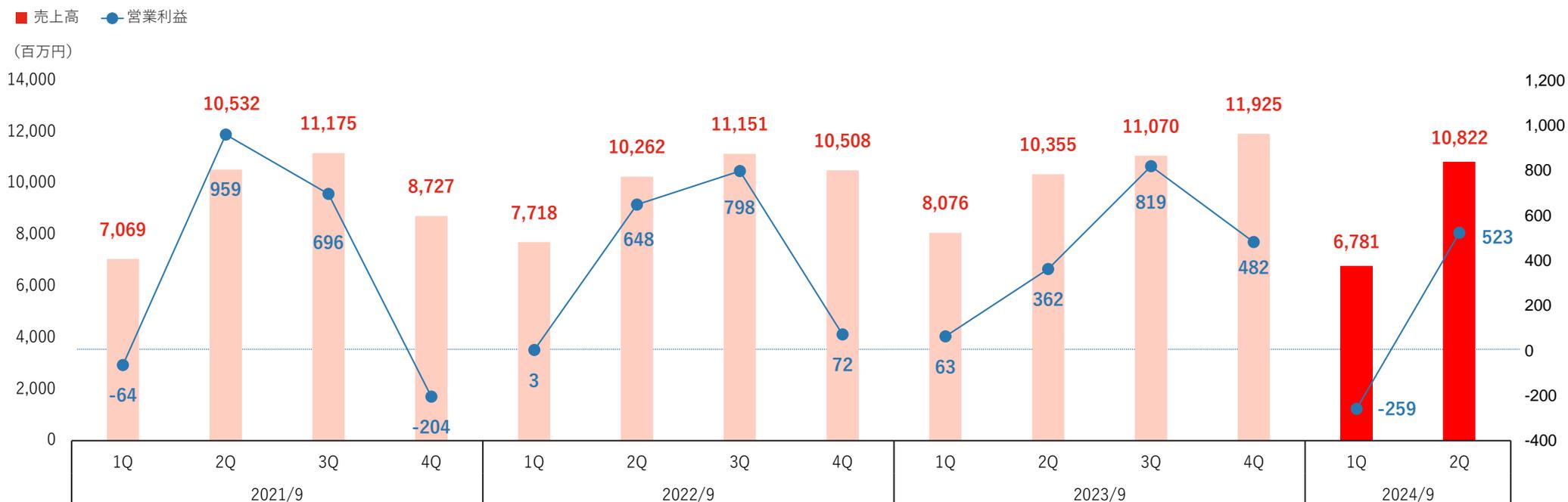
【-】 原材料高騰等の影響 (△570)、為替影響による仕入増 (△43)、
研究開発費の増加 (△67) が主な要因

売上高・営業利益の推移 [四半期ベース]

売上高は 17,603百万円 (前年同期比 4.5%減)

営業利益は 264百万円 (前年同期比 37.9%減)

※国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。





1

2024年9月期 第2四半期 業績概要

【2023年10月1日～2024年9月30日】

2

2024年9月期 業績予想

【2023年10月1日～2024年9月30日】

3

第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

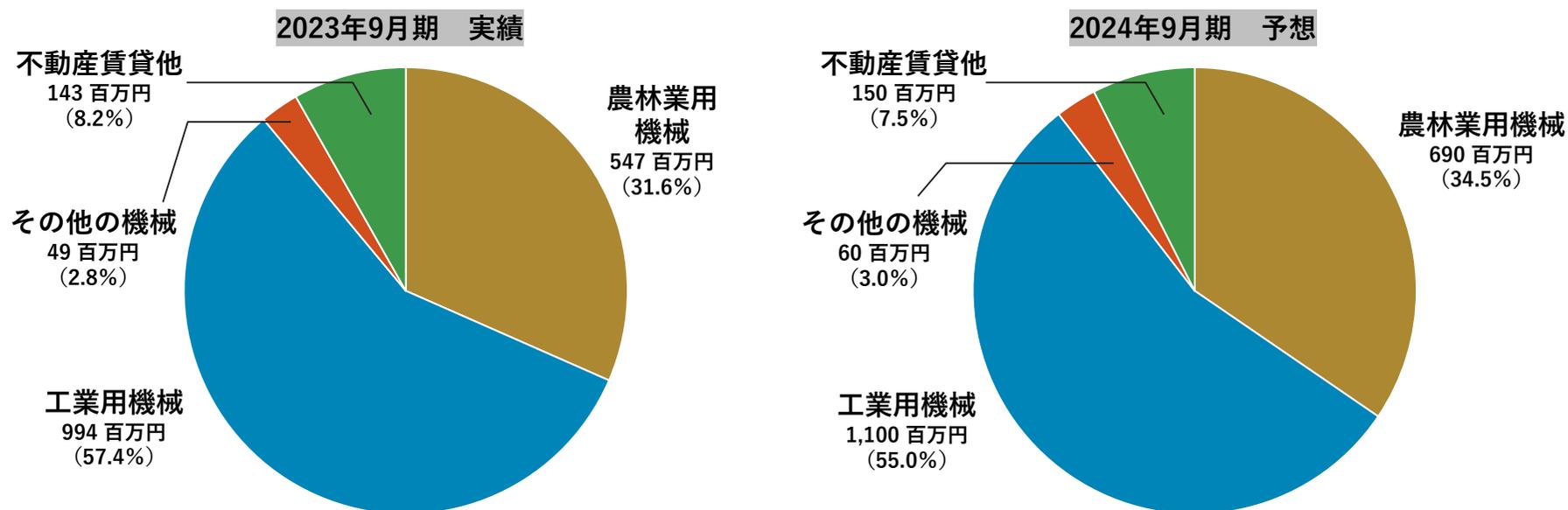
2024年9月期 業績予想

単位：百万円	2023年9月期 実績		2024年9月期 通期予想				2024年9月期 第2四半期実績	
	金額	売上高 比率	金額	前年同期比		売上高 比率	金額	進捗
				増減額	増減率			
売上高	41,426	—	42,000	+574	+ 1.38%	—	17,603	41.9%
営業利益	1,732	4.2%	2,000	+268	+ 15.4%	4.2%	264	13.2%
経常利益	1,726	4.2%	2,000	+274	+ 15.8%	4.2%	253	12.7%
当期純利益	1,218	2.9%	1,400	+182	+ 14.9%	3.0%	141	10.1%
為替レート 米ドル	150円		140円					
為替レート ユーロ	158円		150円					

2024年9月期 セグメント別業績予想

単位：百万円	2023年9月期 実績			2024年9月期 予想							
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	売上高 増減額	売上高 増減率	売上高 構成比	営業 利益	営業利益 増減額	営業利益 増減率	営業利益 構成比
農林業用機械	30,054	72.1%	1,100	30,200	+ 146	+ 0.5%	71.4%	1,200	+ 100	+ 9.1%	31.6%
工業用機械	8,604	20.6%	2,000	9,000	+ 396	+ 4.6%	21.3%	2,190	+ 190	+ 9.5%	57.6%
その他の機械	2,574	6.2%	98	2,600	+ 26	+ 1.0%	6.2%	120	+ 22	+ 22.4%	3.2%
不動産賃貸他	475	1.1%	287	480	+ 5	+ 1.1%	1.1%	290	+ 3	+ 0.6%	7.6%
調整額 (セグメント間取引)	△ 281	—	△ 1,753	△ 280	—	—	—	△ 1,800	△ 47	—	—
合計	41,426	100.0%	1,732	42,000	+ 574	+ 1.4%	100.0%	2,000	+ 268	+ 15.7%	100.0%

セグメント別 営業利益予想



単位：百万円	2023年9月期		2024年9月期			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	営業利益 構成比
農林業用機械	547	31.6%	690	+143	+26.1%	34.5%
工業用機械	994	57.4%	1,100	+106	+10.7%	55.0%
その他の機械	49	2.8%	60	+11	+22.4%	3.0%
不動産賃貸他	143	8.2%	150	+7	+4.9%	7.5%

2024年9月期通期達成への取り組み [国内]



【新製品高圧洗浄機】

高圧洗浄機の新製品投入により、新規顧客を獲得し、上期の落ち込みを挽回いたします。



【アフターマーケット活動】

これまで実施してきたアフターマーケット活動の成果として、前年比増の点検・整備台数を見込んでおります。安心して丸山製品をお使いいただける体制づくりをさらに強化いたします。

2024年9月期通期達成への取り組み [海外]



【ハイクリboom拡販】

北米向けハイクリboomに新製品を投入し拡販を図ります。軟弱地での防除作業に課題がある地域において、当社ハイクリboomの強みの一つである走破性、機動性を最大限に活かし、軟弱地での防除を確実なものとしします。



【工業用ポンプ新製品投入】

米国におけるシェールガス掘削作業向けに工業用ポンプの新製品を投入し、市場の拡大を図ります。

2024年9月期通期達成への取り組み [利益]



【トータルコストダウン活動】

全社取り組みとして行っている製造、販売、物流、管理コストの低減活動（トータルコストダウン活動）を継続、強化いたします。



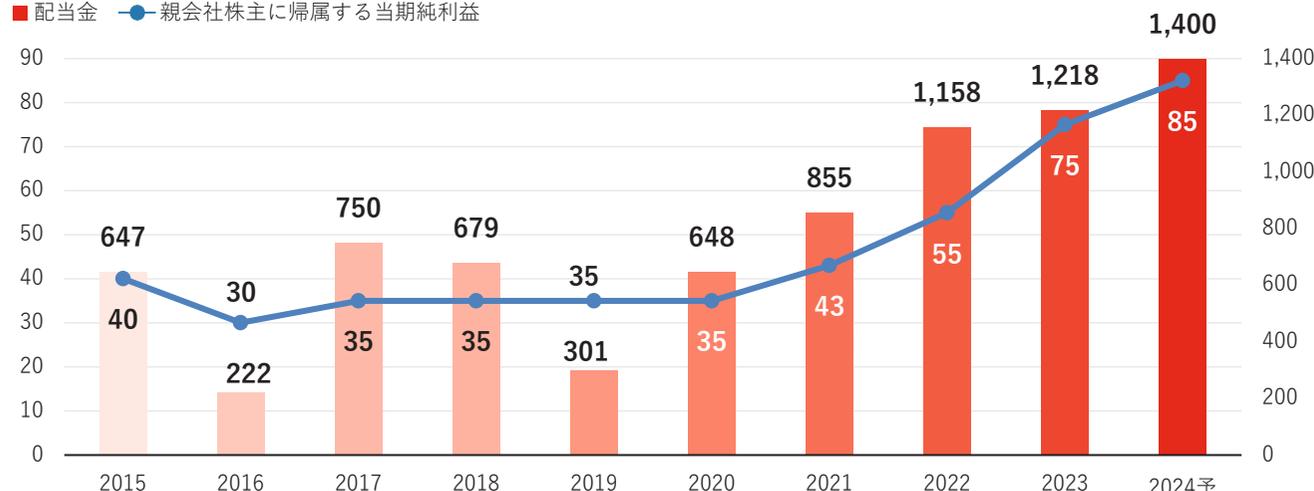
【製商品の値上げ】

部品や原材料費の価格高騰が続いているため、適時適切に製商品の値上げを行ってまいります。

株主還元

- ・ 当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、将来の事業展開に必要な内部留保・各種投資、並びに業績見込みなどを勘案し、25%～30%の安定的な配当を継続することを基本方針としております。また、健全な経営の維持と将来の経営環境への対応を勘案しながら、株主還元を更に充実させていくことは重要と捉え、今後、配当性向の向上、自己株式の取得、株主優待の充実に取り組み、長期安定的な配当水準の向上に積極的に努めてまいります。
- ・ 来期の配当予想額は1株につき85円

■ 配当金 ● 親会社株主に帰属する当期純利益



ご参考－配当性向

配当金のみ	27.1%
株主優待を含めた配当性向	28.4%

ご参考－総還元性向

配当金額	330 百万円
株主優待総額	15 百万円
自己株式取得総額	263 百万円
合計	609 百万円
総還元性向	50.0%

配当性向	30.3%	66.1%	22.9%	25.1%	56.1%	25.7%	23.5%	21.4%	27.1%	26.1%
-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

※ 2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。



1

2024年9月期 第2四半期 業績概要

【2023年10月1日～2024年9月30日】

2

2024年9月期 業績予想

【2023年10月1日～2024年9月30日】

3

第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

2030年 長期経営ビジョン

社会の課題

- 調達難 ・ 材料高騰
- 世界的食糧難 ・ 水不足
- ウイルス対策
- 人材 ・ 労働力不足
- 環境問題
- 国際政治 ・ 経済問題

2030年 長期経営ビジョン

- SDGsに繋がるESG経営の強化
- 社会貢献型企业として成長市場に進出

目標

- 食・水・環境分野の社会課題解決
- CO2排出量 50%削減
- 女性管理職 7名

成長市場

【食・農業・畜産市場】

農薬の適量散布：大型防除機 ・ ドローン ・ ウルトラファインバブル製品による課題解決
 養殖 ・ 育苗：ウルトラファインバブル製品の投入

【環境市場】

消臭・節水・RO処理(水処理)・ミスト・気液混合・ウルトラファインバブルなどのポンプ技術による社会的課題の解決
 環境ニーズ ・ リサイクルニーズへの対応

第8次中期経営計画（2023年9月期～2027年9月期）

◆ 中期経営計画コンセプト：「成長事業の創出」

ESG経営の強化

攻めのESG

食・水・環境市場
社会貢献

守りのESG

持続可能な体制づくり
リスク管理・投資・ガバナンス強化



第8次中期経営計画（2023年9月期～2027年9月期）

- ◆ MUFB技術の更なる進化とスマート農業化の促進
- ◆ 既存技術の進化
- ◆ 品質対策と製品安全の体制強化

- ◆ 国内の新市場開拓・既存市場の成長
- ◆ アジア市場へのリソース拡大
- ◆ 海外売上比率35%を目指す
- ◆ アフターマーケット強化



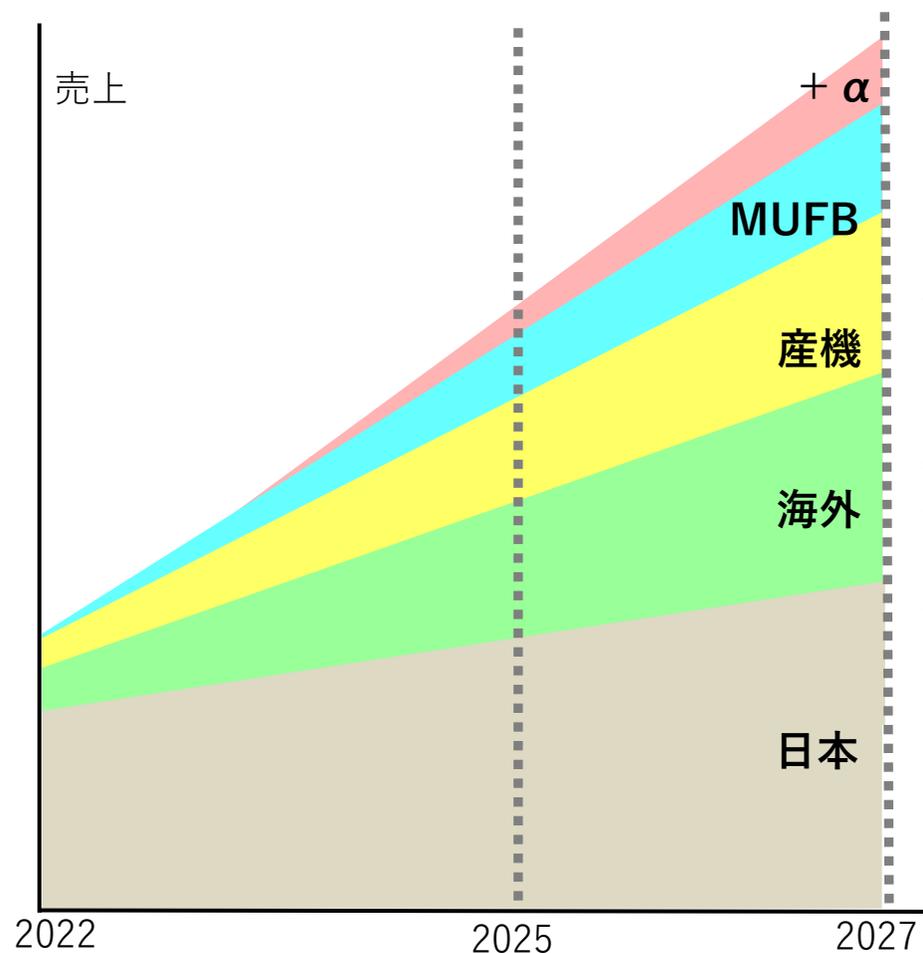
- ◆ ブランド力強化・ガバナンス強化
- ◆ 働き方改革・労働安全確保・従業員満足度向上
- ◆ 収益力向上・財務体質強化
- ◆ 丸山流DXを通じたイノベーティブな組織風土創造

第8次中期経営計画の目標

単位：百万円	2023年9月期 実績	2024年9月期 目標値	2027年9月期 目標値
売上高	41,426	42,000	48,000
営業利益	1,732	2,000	2,800
ROE	6.3%	7.1%	7.5%



第8次中期経営計画 事業成長イメージ



【MUFB市場・+α】

- ・ ウルトラファインバブル製品を海外市場を含め新規の流通へ展開
- ・ 市場ニーズへスピード感を持った対応を行うため、自社開発の他、協業による新規市場参入や製品開発を目指す

【産業用機械市場】

- ・ 新用途向けのポンプ製品開発を進め、国内外ともに更なる事業拡大を図る

【海外市場】

- ・ アジア圏の農業機械市場に対して日本国内成功モデルを拡販する
- ・ タイ現地生産法人による製品開発・生産を積極的に展開、更なる進出を図る
- ・ 海外人材を活用し、より細かな市場開拓、マーケティングによる拡販を図る

【日本市場】

- ・ スマート農業機器、IoT・センサー技術製品の開発、新環境型エンジン搭載製品の開発、バッテリー製品ラインナップの拡充により市場ニーズへ対応

成長事業の創出：海外事業の成長

インド

インド向けハイクリブームの生産販売に向け、部品調達、現地生産の準備が進んでまいりました。いよいよ来期より現地での生産がスタートします。

また、インドでの現地調達部品を日本へ輸入し、コストダウンを図ってまいります。

ベトナム

R&D現地法人の設立を皮切りに、大型機械の販売準備を進めてまいります。

アジア圏

タイ・インドを含め、アジア圏での生産を増強し、アジア圏での更なる展開に取り組みます。

中南米

OPE製品の中南米での拡販を行うため、リソースの拡充を図ります。

成長事業の創出：MUFB(ウルトラファインバブル)技術

農業



- ・野菜のハリ、ツヤが良くなった
- ・果物の収穫量、甘さも増した
- ・減肥栽培に有益性が発揮された



水産業



- ・鮮度が長く保たれるようになった
- ・畜養での死滅率が減った



工業

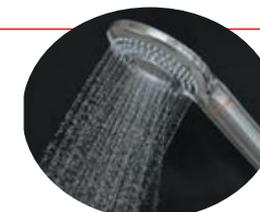


- ・洗浄力の向上により洗剤の量が減った
- ・金属加工で使う切削液が長持ちした
- ・燃料使用時のCO2が削減された

家庭



- ・髪や肌がうるおった
- ・節水しながら洗うことができる
- ・排水溝のニオイがなくなった



洗浄



- ・トイレの尿石が取れた
- ・臭いが減った
- ・除塩、除油作業の効率が良くなった



ウルトラファインバブルとは
1 μ m 以下の微小な泡

- 洗浄力の向上
- 浸透性の向上
- 生理活性効果
- 泡の長期滞在

ファインバブル活用事例集を基に当社作成：https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf

成長事業の創出：スマート農業・環境型製品への取り組み

スマートシャトル

- ・自動走行による防除作業の省力化や稼働時間の短縮、安定性の向上など作業環境の改善を目的に開発された自動走行型農薬噴霧ロボット
 - ・GPSの使えないビニールハウス内でも、自動走行でビニールハウス内の畝間や通路の移動が可能
- 省力化・高機能化をコンセプトに、農業作業における負担軽減、快適な作業環境と高効率化を実現する製品開発に努め、スマート農業の実現に貢献してまいります。**



次の100年を創る
-All for the Future-

ドローン

- ・防除機メーカーである当社による農業用に特化した扱いやすい機体を販売
- ・GPS信号を受信した自動制御飛行
- ・資格取得の教習からアフターサービスまでトータルサポート体制を構築



**ドローンの普及
および安全な操作に向けて取り組みます。**

環境型製品

- ・排気ガス規制に対応した新型エンジンを製品に搭載
- ・バッテリー製品のラインナップを拡充
- ・小型作業機用2ストローク水素エンジンの開発



**環境負荷低減に向けた製品開発に取り組み、
持続可能な社会づくりに貢献します。**

サステナビリティへの取り組み

ESG経営、SDGsの達成に向けた取り組みをより一層推進するため、サステナビリティ専門家を招き、経営層を中心としたサステナビリティ委員会、将来を担う若手メンバーを中心としたサステナビリティ推進委員会にて、サステナビリティの方針、重要課題、KPIなどのテーマについて議論を進めております。

また、サステナビリティに関するレポート開示に向けた取り組みを進めております。

丸山グループのコアテクノロジーであるポンプとエンジン技術を最大限発揮し、食・水・環境の分野において、事業活動を通じたサステナビリティを実現し、グローバルに社会貢献できるよう活動を継続してまいります。



【丸山製作所グループのサステナビリティ】

【CO2排出量削減への取り組み】

当社では、「2030年長期経営ビジョン」の目標の一つにCO2排出量50%削減（2020年9月期比、Scope2）を掲げています。2022年9月期、当社の主力工場である千葉工場（東金市）及び2番目に生産量の多いグループ企業である日本クライス株式会社（東金市）では2023年9月期に使用する電力を再生可能エネルギー由来の電力へ変更しました。

これにより、自社の生産活動により発生するCO2排出量の40%相当（約2,300t-CO2）を削減できました。更に2024年9月期には、西部丸山株式会社に太陽光発電設備を導入します。

引き続き全拠点において、CO2削減に向けた取り組みを進めていきます。





1 2024年9月期 第2四半期 業績概要

【2023年10月1日～2024年9月30日】

2 2024年9月期 業績予想

【2023年10月1日～2024年9月30日】

3 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4 参考資料

会社概要 財務諸表 等

貸借対照表

単位：百万円	2023年9月期 期末		2024年9月期 第2Q		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	36,773	100.0%	38,082	100.0%	+1,349	
流動資産	22,515	62.1%	23,372	61.4%	+856	たな卸資産の増加 電子記録債権の減少
固定資産	14,218	39.2%	14,710	38.6%	+492	投資有価証券の増加
流動負債	15,001	41.4%	15,886	41.7%	+884	支払手形及び買掛金、短期借入金の増加 電子記録債務の減少
固定負債	2,265	6.3%	2,754	7.2%	+489	長期借入金の増加
純資産	19,466	53.7%	19,442	51.1%	▲24	その他有価証券評価差額金の増加 利益剰余金の減少

	2023年9月期 期末	2023年9月期 第2Q
自己資本比率	52.7%	50.7%
流動比率	150.1%	147.1%

キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2023年9月期 第2Q	2024年9月期 第2Q	増減額	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	▲1,033	▲843	+189	売上債権の減少 支払期間短縮による仕入債務の減少
投資活動によるキャッシュフロー	▲460	▲1,066	▲606	有形固定資産の取得による支出の増加
フリーキャッシュフロー	▲1,493	▲1,910	▲417	
財務活動によるキャッシュフロー	353	1,323	+970	短期借入金及び長期借入金の増加
現金及び現金同等物期末残高	3,449	3,428	▲21	

会社概要

社名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 内山 剛治
本社	〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目4番15号
創業・設立	【創業】1895年 【設立】1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	414億26百万円（2023年9月期）
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上場	東京証券取引所 スタンダード
従業員数	【単体】612名 【連結】964名（2024年3月31日現在）
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	https://www.maruyama.co.jp/

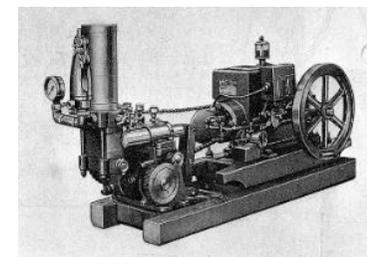


沿革

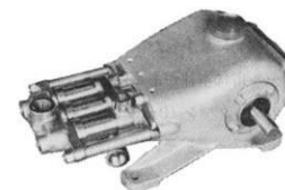
- 1895年 新潟県高田町にて丸山商会を創業（日本で初めて消火器を製造）
- 1918年 人力噴霧器の製造・販売
- 1935年 動力噴霧機の製造・販売
- 1937年 株式会社丸山製作所を設立
- 1961年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967年 工業用ポンプを開発
- 1977年 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990年 オリジナル2サイクルエンジン開発
- 2000年 新環境型2サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア
- 2004年 消火剤リサイクル…eco 消火器を販売
- 2012年 キャビン付ハイクリブームの開発
- 2016年 マルチローター（ドローン）の開発
- 2018年 ハイクリブーム発売 30周年を迎える
- 2020年 創業 125周年



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



2サイクルエンジン



キャビン付ハイクリブーム



マルチローター

当社の事業内容



農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェーンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品



当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。



ポンプ & エンジン

当社の強み [製品]

当社の製品は様々な分野で高いシェアを獲得しています。



ポンプ製品の農業用防除機で
高いシェア



海外(北米)でのカーウォッシュ用
ポンプで高いシェア



エンジン製品の刈払機でホーム
センター流通において高いシェア

国内の販売・生産・サービス拠点

本社 東京都千代田区

生産拠点 4ヶ所
千葉県東金市（2ヶ所）
長野県須坂市
岡山県苫田郡

営業拠点 全国 25ヶ所
北海道（江別・帯広）／青森／岩手／秋田／
山形／宮城／福島／茨城／栃木／千葉／新潟／
長野／山梨／石川／愛知／静岡／大阪／広島／
岡山／香川／福岡／熊本／鹿児島／宮崎

物流拠点 3ヶ所
福島県／千葉県／岡山県

関係会社 日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社
双葉商事株式会社
M-Innovations株式会社

千葉工場 (東京ドーム3個分の敷地)



物流拠点(福島)



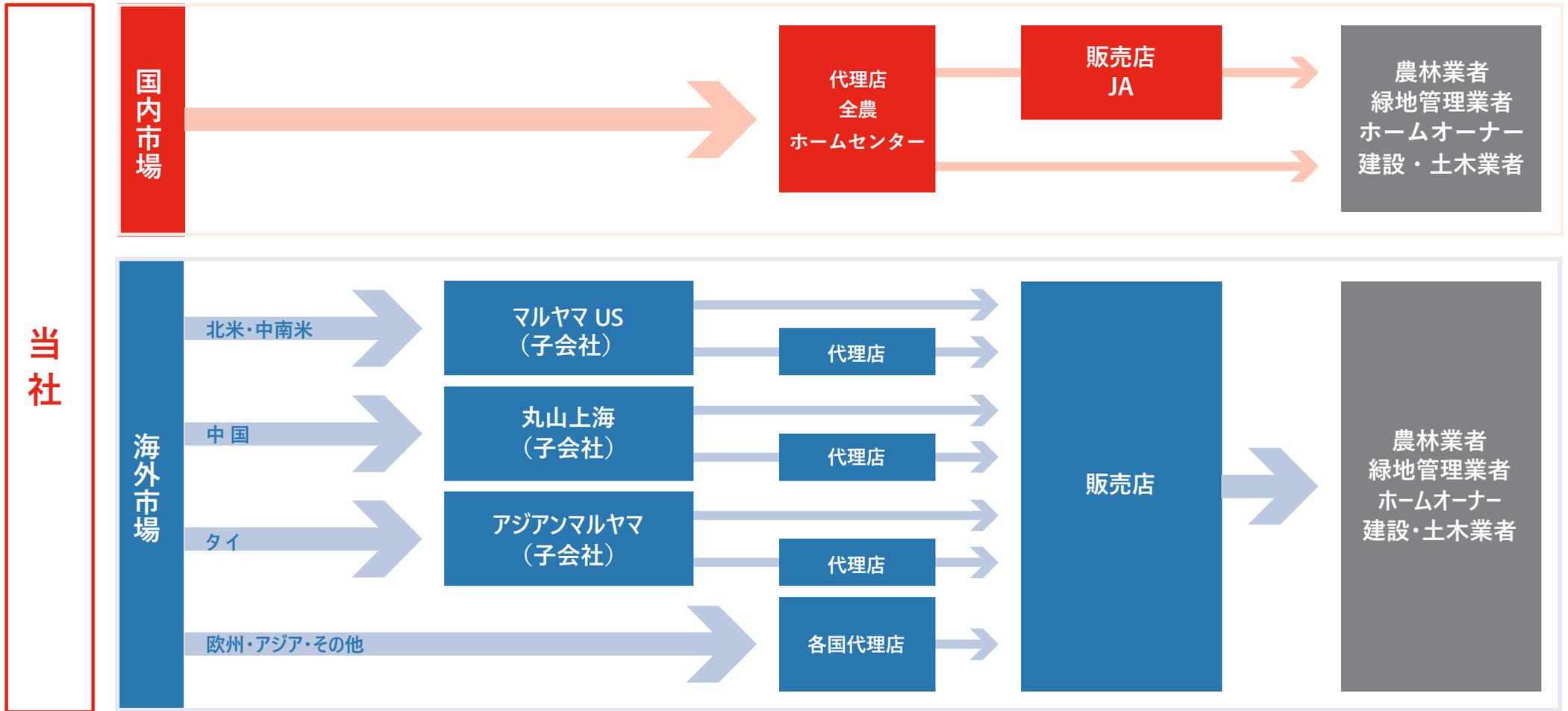
西部丸山(岡山)



海外の販売・生産拠点



主な販売経路



ポンプを使用した工業用製品

スパウターによる消臭作業



テーマパークで使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水 RO



ポンプを使用した農業用製品

スタジアムの抗菌 抗ウイルスコーティング



牛舎での除菌作業



【畑・ビニールハウス】

背負動力噴霧機



【果樹園】

ステレオスプレーヤ



【田・畑】

ハイクリブーム



【中山間地】

ドローン



エンジンを使用した製品

刈払機



ブロワー



ヘッジトリマー



チェーンソー



背負動力噴霧機



当社の強み [生産体制]

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております。

設計



生産



商談



納品



アフターサービス



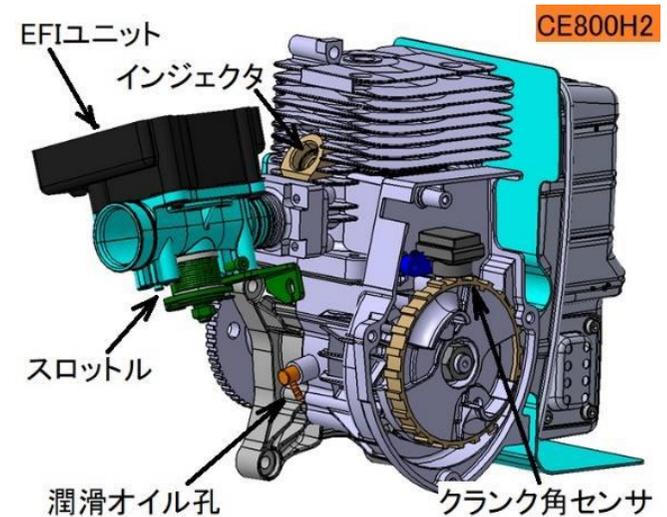
 **MARUYAMA**
次の100年を創る
-All for the Future-

[水素エンジン]開発成功

世界初の小型作業機用 2 ストローク水素エンジン、安定運転に成功いたしました。
農機等のプロユース作業機でもゼロエミッションを目指します。

当社は、刈払機をはじめとするOPE製品に搭載可能な小型 2 ストロークエンジンにおいて、世界初となる100%水素燃料での安定運転に成功しました。これにより排出ガスのクリーン化を実現し、さらなる環境保全とプロユースの作業性の両立、カーボンニュートラルに向けた水素利用研究に取り組んでまいります。

テストでは量産タイプの排気量80cm³、単気筒 2 ストロークガソリンエンジンをベースに試作機を作成し、水素燃料による安定運転を実現しました。現在は試験ベンチ上のエンジンで、水素は外部供給設備での運転ですが、今後はカセットボンベ方式の採用と部品の小型化を図り、屋外作業が可能な試作機を作成予定です。さらに製品の動力源としての水素エンジンの可能性を探ります。



エンジン構造図



[MUFB温水洗浄機]を発売

当社は、除塩・除油に有効な MUFB（マルヤマウルトラファインバブル生成技術）温水洗浄機 [UP0814H] を開発し、2024年4月に発売を開始いたしました。

本製品は、温水のウルトラファインバブルによる高い洗浄力と結晶融解効果で、しつこい油汚れや沿岸部における潮風、冬場の融雪剤により付着した塩などを素早く除去します。また、従来の水道水での洗浄と比べ使用燃料削減とCO2排出量の削減や作業時間短縮による使用水量の削減を実現します。

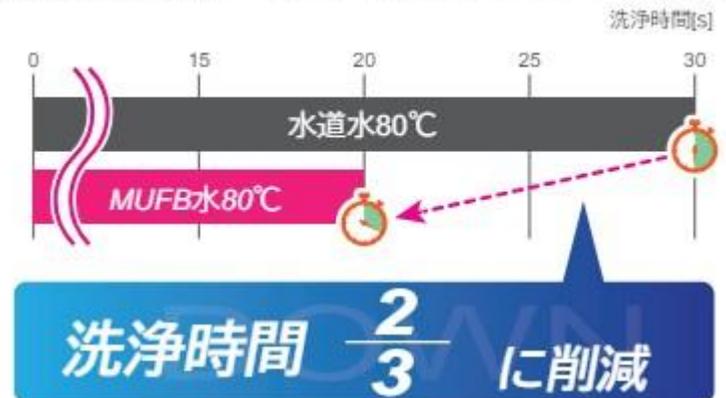
当社が展開するMUFBは、農業分野をはじめ、多くの分野での実用化が進んでおり、各方面から高い評価を得ています。今後も新分野への実用化を行うべく、研究開発を進めてまいります。



塩分濃度測定結果 ※洗浄前塩分濃度 約1,100ppm(洗浄時間10秒)



油分濃度測定結果 ※約1%の除油を完了させるまでの作業時間差



水温を **80°C** → **60°C** に下げて設定することで・・・

1日3時間の洗車なら1ヶ月で約100Lの燃料使用量を削減!

燃料使用時のCO₂を30%削減しSDGsに貢献!

灯油112円/Lの場合
月平均 **11,200円** 削減

CO₂ **30%** 削減

水道代
月平均 **3,700円** 削減

※東京都水道局料金表から算出
※当社検証による効果試算

[健康経営]3年連続優良法人認定



当社グループは、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人認定制度」の大規模法人部門において、「健康経営優良法人2024」に認定されました。本年度で2021年以降3年連続の認定となります。

当社グループは、社会になくってはならない企業である事を目指し、「食・水・環境」の各分野の課題解決に向け、創業以来、全従業員と歩んでまいりました。ブランドステートメントである「次の100年を創る -All for the Future-」を実践し、より良い社会を創るためには、従業員とその家族が健康で、働き甲斐が実感できる事が必要不可欠と考えております。

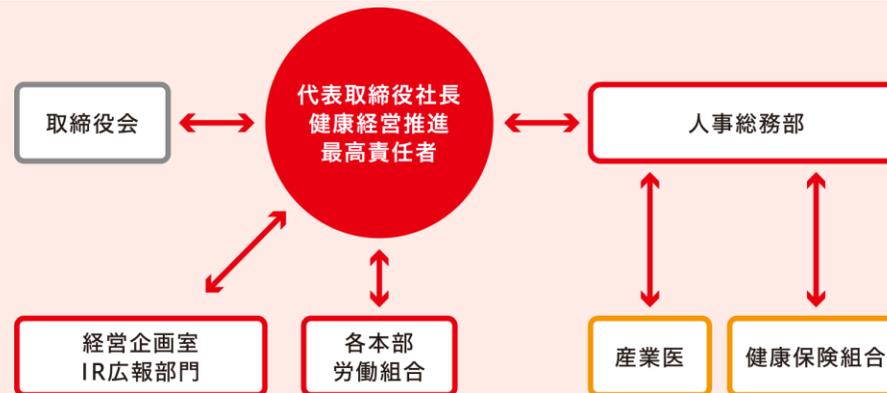
今後も健康経営を通じて、従業員が長く安心して生き活きと働き続けられる企業を目指し、従業員の健康作りを推進してまいります。

■丸山グループの健康経営への取り組み

- ・有給休暇取得促進等の過重労働対策
- ・テレワークや時差出勤、フレックスタイム制度の積極的な活用
- ・特定保健指導が実施されている旨の周知と対象者への参加推奨
- ・管理職、一般社員向けに健康経営セミナーの実施

■推進体制

代表取締役社長を健康経営推進最高責任者（CHO）とし、関連部署及び健康保険組合、産業医と連携し、健康経営に取り組んでいます。



新会社 [M-Innovations株式会社] を設立

当社は、IT戦略の企画および遂行を目的とした [M-Innovations株式会社] を設立し、2024年4月1日より営業を開始いたしました。

急速にIT化が進む昨今の状況下においては、事業や技術の変革を従来以上のスピード感で取り組む必要があります。社会課題解決のバリューチェーン作りに貢献し、日本の中堅中小企業のIT推進のモデルとなることを目指してまいります。

■会社概要

商号：M-Innovations株式会社

所在地：東京都千代田区内神田三丁目4番15号

資本金：5,000万円 ※株式会社丸山製作所100%出資

代表者：代表取締役社長兼CEO 八尋 美徳

事業内容：

- ・コンピュータ・ソフトウェアの研究、設計、開発、製作、販売、保守、リース、賃貸及び輸出入並びにそれらに関するコンサルティング業務
- ・情報通信サービス、情報提供サービスその他情報サービスの提供
- ・企業戦略の立案、企業革新、企業情報システムの構築に関する支援事業
- ・企業内従業員の為の教育事業
- ・労働者派遣事業
- ・アウトソーシング事業の受託及び請負



M-Innovations
ホームページ

〔統合報告書〕 初版を発行

当社は2023年12月に、統合報告書の初版を発行いたしました。統合報告書は、売上や利益などの財務情報と、企業の持続可能な社会への貢献（価値創造ストーリー）やESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組みなどの非財務情報を一つにまとめた報告書です。初版では、各種財務情報や価値創造ストーリー、サステナビリティに関する取り組みのほか、代表取締役社長内山剛治のメッセージ、〔2030年長期経営ビジョン〕と第8次中期経営計画の進捗状況などの内容を掲載しております。統合報告書を通じて、より多くのステークホルダーの皆様にご当社の取り組みを認知いただけるよう、企業価値の向上に取り組んでまいります。



2023年9月期
統合報告書

[MARUYAMA U.S.,INC.] を移転

2024年3月に、アメリカの販売子会社 [MARUYAMA U.S.,INC.] を、テキサス州ダラス・フォートワースのメトロプレックス中心部に移転しました。

同社は、1986年にワシントン州で販売拠点として設立、2006年に本社をテキサス州に移転し、北米、中南米を販売エリアとして事業展開しております。北米市場の販売拡大に備えた人材確保と物流能力向上のため、このたびの移転となりました。移転を機に、北米、中南米での販売活動をより活性化させ、売上拡大に努めてまいります。

■会社概要

商号：MARUYAMA U.S.,INC.

所在地：3001 Red Hawk Dr. Grand Prairie, TX 75052 U.S.A

事業内容：北米を中心に農林業用機械を販売



[MARUYAMA U.S.,INC.](#)
[ホームページ](#)



株主優待

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する中長期的な投資魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

・ ESG活動の一環としてQUOカード1枚につき10円を社会貢献団体に寄付することとし、自然保護等に役立ててまいります。

【贈呈対象】

毎年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を1年以上継続保有されている株主様

継続保有期間	保有株数	株主優待
1年以上3年未満	100株以上	QUOカード1,000円分
3年以上5年未満	100株以上200株未満	QUOカード2,000円分
	200株以上	QUOカード2,500円分
5年以上7年未満	100株以上200株未満	QUOカード3,000円分
	200株以上	QUOカード4,000円分
7年以上	100株以上200株未満	QUOカード5,000円分
	200株以上	QUOカード6,000円分

注) 継続保有期間の確認にあたっては、3月31日及び9月30日の株主名簿に連続して記載される同一の株主番号の回数並びに各回において100株以上の確認を基準といたします。

- ・ 1年以上3年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続3～6回記載
- ・ 3年以上5年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続7～10回記載
- ・ 5年以上7年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続11～14回記載
- ・ 7年以上：株主名簿に100株以上の保有を、連続15回以上記載

注) 以下の場合株主番号が変わり、継続保有となりませんのでご注意ください。

- ・ 証券会社の貸株サービスを利用して貸株された場合
- ・ 保有株式を全て売却した後に買い戻した場合
- ・ 株式をお預けの証券会社を変更された場合
- ・ 名義変更などにより株主番号が変更された場合

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-4-15

TEL : 03-3252-2271

E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp